

人線 (公安官) から面 (警察官) へ

家老直貴さん
二十五歳 山田

ある巨大なモノに人は自分の人生を変えられることがある。例えば戦争、災害、事件……。家老直貴さん。今は黒埼幹部派出所に勤務するお巡りさんだが、その前は鉄道公安官だった。国鉄の分割民営化が家老さんに警察官の道を歩ませた。「自然とそうになりました。似てなくもない職種です」と言うが……。

昭和五十六年四月、高校を卒業後、「電車で通学しているうちに好きになって」国鉄新潟鉄道管理局へ。駅員のような普通の仕事でなく、何となく制服にあこがれて「鉄道公安官に。鉄道公安官は日本国有鉄道の施設内の公安維持の職務に当たる。国鉄内の犯罪に対して捜査権を持つ。」「スリやよっぱらい、迷子、自殺、カッ

コもいい仕事じゃないですよ」昭和六十一年十月、新潟県警に。「もう国鉄はダメだっていう感じでした。ダメっていうのは国鉄が悪いという意味じゃなくて、職場がなくなるといことです。ちょうど結婚したところで、不安もありました。七十五人いた鉄道公安官は半分以上が警察へ、ほかは退職したり、民間会社へ行ったり、J



今春から黒埼幹部派出所に立つ家老直貴さん。このほど青年警察職員意見発表大会で優秀な成績をおさめる。「気はやさしくて力持ちの金太郎警察官になりたい」

Rに残ったります。半年後の六十二年四月一日、国鉄はJRとなった。六十二年四月には二十七万七千人いた国鉄職員は、JRになったときは二十万六百人。七万人以上が去っていった。

家老さんもその一人である。「残るも地獄、出るも地獄といわれまじした」

鉄道公安業務は警察が引き継いだ。半年間の研修を終えた家老さんは六十二年四月一日から鉄道警

察隊に配置された。「動輪のマークからJRのマークになった列車を見たとき、さみしかったですよ。俺は頑張るぞ、と思いました」。

そして今年春に新潟西警察署に異動、黒埼町へ来た。「正直なところ大変です。初めて交番に立つわけですから、緊張します。まだ、よかったですかどうかはわからないですが、よくしなければ」と言う家老さんが、最近、うれしいことがあった。青年警察職員意見発表大会の県大会で優勝し、十一都県で競う関東管区大会でも最優秀の次の優秀賞を得たのだ。警察官となってわずか一年半である。署内では、「快挙」の声。「千八百字程度の作文です。鉄道公安官が線ならば町の警察官は面ですね。道案内や交通事故、空巢、どれ一つとってもその人にとっては重大なことです。いろいろなきががあります。信頼され相手の立場に立てる警察官になりたいと思います。(I・G)

七ページのとり、県内全国の広報紙の交換をしているが、先日届いた滋賀県T町の広報を開いて、ハッとした。「みなさんこんにちは。広報係の〇〇です。五月号から広報の担当となり、皆さんのおつきあいは五ヶ月目にはいりました。親しいただける広報をめざして、一生懸命頑張っていますが、まだまだみなさんの笑顔は見る事ができていませんので広報係まで声をおきかせください。また、各々の公会堂や役場、公民館、診療所、総合センターに広報ポストを置きました。お気付きの点、おしかりのことは……そしてお元気に成長できます。お気軽にポストのご利用をノまた、広報に掲載を希望されるかた投稿、写真、まんが、イラスト、俳句、詩何でもお待ちしています。広報にだけではありません。必ず載せます。ぜひお寄せください」という一文が手書きで書かれた半紙に載っていたのである。町民が手書きで書いてくれたのに、なぜ広報は活字なのだろう、と考へた自分を忘れていた。コミュニケーションとはあくまで「対一」であり、一人一人に向けて情報を発信しなければならぬのである。今号のハガキ、そういう意味で手書きにさせてもらった。ぜひ返事をください。お待ちしております。

ほんの一冊

むらおこしルネッサンス
(亀地 宏)
ぎょうせい

「むらおこし」というとワインづくりや一村一品運動の大分県が有名ですが、現在の大きな成果を得るまでにどれだけの努力をこれらの地方自治体は払ってきたのでしょうか。本書では池田町、大分県を含む全国35の地方自治体での「むらおこし」のようすと成果を分析しています。著者は成功のカギを地域の「自立」と見ています。国や企業をアテにせず、地域の人たちの知恵と力で町村の未来を切り開いていこうとする「自立」の姿勢こそが「むらおこし」の成功に欠かせないというのです。自分の住んでる町をよくしたいと考えている人に、なんらかのヒントを与えてくれる本だと思います。

前年		今年	
7月末日現在	(前月比)	同月比	前年同月比
人口	23,015 (-8)	+294	+294
男	11,315 (-16)	+133	+133
女	11,700 (+8)	+161	+161
世帯	6,088 (-1)	+117	+117
7月1日～末日			
出生	20	転入	36
婚姻	8	転出	52
死亡	18		



来月号の特集 交通安全です

4月から交通安全推進員制度が発足して半年、また「交通安全アンケート」がまとまりました。どうぞ、あなたの意見をお寄せください。11月号は欄を予定しています。

